



二葉だより

令和2年9月30日 NO.7

墨田区立二葉小学校

校長 山崎 隆

<http://www.sumida.ed.jp/futabasho/>



ルドルフとイッパイアッテナ

校長 山崎 隆

新型コロナウイルス感染症予防対策による休校で始まった令和2年度も半年が過ぎ、子供たちは感染予防をしながら学校の新しい生活様式の中で前期のまとめに取り組んでいます。

さて、10月は月末から翌月にかけて「読書週間」が設けられるなど「読書の秋」という言葉がぴったりな時期でもあります。でも、どうして秋だけが読書と特別に結びついているのだろうかと気になったので調べてみました。

「読書の秋」の起源は、唐（現在の中国）の文学者である韓愈（かんゆ）が息子に贈った詩の一節とされています。それは、学問の大切さを説いたもので、秋になって涼しくなったら「燈火稍可親」（夜の灯りに親しんで書物を開きなさい）というものです。これが後に「灯火親しむべし」という漢語となり、一般に用いられるようになったのだそうです。また、明治時代には、文豪・夏目漱石が新聞に連載していた「三四郎」に引用し、読書といえば秋のイメージが広く使われるようになったと言われています。

前置きが長くなりましたが、今回は本にちなんだお話です。題名の「ルドルフとイッパイアッテナ」は教師になってすぐの頃に子供たちと一緒に読んで心をぐっとつかまれた児童文学作品です。作者は斉藤洋さんです。

岐阜県に住む飼い猫のルドルフはふとしたことから東京に来て迷子になってしまい、トラ模様の大きくて強そうな野良猫に出会います。野良猫は、近所のおばあさんにはトラ、魚屋のおじさんにはデカ、学校の給食室ではボスと呼ばれています。ルドルフに名前を尋ねられ、「おれの名前は、いっぱいあってな・・・」と答えたことで2匹はお互いを「ルドルフ」「イッパイアッテナ」と呼び合うことになります。

イッパイアッテナは文字が読めて教養があり、ルドルフに野良猫としての生き方を教えます。また、ルドルフはイッパイアッテナの力を借りて飼い主の家へ帰る方法を探しますが、苦勞しながらもなかなかよい方法が見つかりません。とうとう泣きべそをかいて弱音を吐いてしまいます。そこでイッパイアッテナは「ばかやろう！絶望は愚か者の答えだ。」と言います。このセリフが印象的で、「希望を捨てず最後まであきらめない」という意味で「絶望は愚か者の答え」が当時の学級の合い言葉になりました。

本は心の栄養とも言われますが、読書から得るものや学ぶものはたくさんあります。学校生活に限らず、子供たちが成長する過程においては様々な場面で困難なことや乗り越えなければならない壁に出会います。そんなとき最後まであきらめない強い気持ちをもつことの大切さをこの本は教えてくれます。

読書の秋です。子供たちが読んだ本や、保護者の皆さんが子供の頃に読んだ本について親子で話し合ってみてはいかがでしょうか。

行事予定

<10月>

<11月>

1	木	保護者会34	○	1	日		
2	金			2	月	展覧会(午前中のみ)	○
3	土			3	火	文化の日	
4	日			4	水	午前授業 二葉まつり朝練習開始	
5	月	日光野外体験6		5	木		
6	火	保護者会6		6	金		
7	水			7	土	土曜授業⑨ ぐんのび② 道徳授業	
8	木	安全指導 交通安全教室4		8	日		
9	金	前期終業式		9	月	委員会活動 安全指導	
10	土			10	火	二葉まつり練習①	
11	日			11	水	午前授業	
12	月	後期始業式		12	木		
13	火			13	金		
14	水	午前授業		14	土		
15	木			15	日		
16	金	運動会リハーサル		16	月	クラブ活動	
17	土	土曜授業⑦ 運動会	○	17	火		
18	日			18	水	避難訓練(火災)	
19	月	あわの前検診5 クラブ活動		19	木	二葉まつりリハーサル1 記念式典リハーサル6	
20	火	避難訓練(不審者対応)		20	金		
21	水	あわの移動教室5		21	土	土曜授業⑩ 二葉まつり 115周年記念式典	○
22	木	あわの移動教室5		22	日		
23	金			23	月	勤労感謝の日	
24	土			24	火		
25	日			25	水	二葉まつり予備日	
26	月	鉄棒月間開始~11/13		26	木		
27	火			27	金	開校記念日	
28	水			28	土		
29	木	展覧会	○	29	日		
30	金	展覧会	○	30	月	委員会活動	
31	土	土曜授業⑧ 展覧会 漢字検定①	○				

○は保護者参加可能日です。

*諸事情により、日程が変更になる場合があります。

スクールカウンセラー来校日

小川先生 水曜日 7日、14日、21日、28日

横山先生 木曜日 1日、8日、22日、29日

ひとつばた子広場 なし

展覧会に向けて

図工専科 小手森 菜央

今年の展覧会のテーマは、「つくろう夢を つなげよう未来へ」です。新型コロナウイルス感染症の影響で、窮屈な日々が続いていますが、作ることを通してわくわくしたり、楽しい未来を想像したりしてほしいと思い、このテーマを設定しました。現在、子供たちは苦戦しながらも自分の作品に向き合っています。できあがった作品だけでなく、その努力の過程も想像してご鑑賞ください。

児童の様子について

3年担任 小野 幸恵

例年とは違う夏休みを過ごした子供たちでしたが、夏休み明けも元気に学校生活を送ることができています。

3年生は、運動会で子供たちに人気のアニメの曲を使ってダンスを踊ります。今その練習に励んでいます。みんなで一つの曲を一生懸命に練習する様子は、コロナ禍で大変な時だからこそ、心動かされるものがあります。本番に向けて、頑張ります。

生活指導から

10月の生活目標

ていねいな言葉づかいをしよう

生活指導部 佐藤 優

人と人のかかわりが制限されている今だからこそ、相手への思いやりや優しい言葉がけが大切になっています。ていねいな言葉で人と接することで周りにいる人を優しい気持ちにさせてくれます。みんなで温かい二葉小学校をつくっていけるよう指導していきます。

令和3年度入学 学校説明会について

9月12日(土)に予定されていた学校説明会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。代替として学校ホームページに学校紹介を掲載しています。トップページに「令和3年度入学予定の保護者の皆様へ」というトピックがありますので、こちらからご覧ください。

就学時健康診断は、11月4日(水)の予定です。こちらも併せてよろしくお願いたします。

115周年記念式典について <11月21日(土)>

二葉小学校は、今年度、開校115周年を迎えます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、記念式典は規模を縮小して実施します。式典後の祝賀会は中止します。このような状況の中ですが、子供たちの記念になる行事となるように協賛会、実行委員会の皆様と準備を進めています。